

第 1 回 江東区 緑の基本計画改定委員会 議事概要

テーマ	主なご意見	対応
緑の基本計画改定の概要	1. ヒアリング調査は、対象や団体数等についての想定はあるか。	10～20 団体を想定している。対象は、緑関係の団体はもちろん、スポーツや観光関係の方、町会など、幅広い分野の関係者を想定している。結果については、第 2 回改定委員会において、共有させていただく。
	2. CIG サポーター会議の議事録は見ることはできるか	次回の委員会で前回の会議結果の概要をまとめたものを共有させていただく。
	3. 傍聴について、区民に計画改定について知ってもらうよい機会だと思うので、周知をしていただけるとよい。	委員会の 1 週間前に、区のホームページ等で公表する。
緑の基本計画改定の視点	4. 長期計画の政策分野における「産業・生活」と緑の関係とは、観光や商店街の活性化とみどりの関係という認識でよいか。	そうである。江東区観光推進プラン、江東区オリンピック・パラリンピック開催準備プラン、豊洲地区運河ルネサンス計画書などにおいて、みどりや水辺に期待されていることも踏まえて、今後検討していく。
	5. 「価値を実感できるみどり」はとても重要であるが、みどりの価値や魅力を実感してもらうステップの前に、魅力づくりに参加できる枠組みがあるとよい。	参加・協働については、項目のひとつとして明記するとともに、区民サポーター会議やヒアリング等のご意見を踏まえ、具体的な課題や方針について、次回以降の委員会で検討していく。
	6. 区民の参加・協働について、しっかり項目として位置付けたほうがよい。協働や連携によって事業を進めていくことを、緑の基本計画の中で位置づけ、流れを作れるとよい。	
	7. 防災に資する緑の役割も明示する必要がある。	防災の視点も重要であると認識している。今後、防災から見た課題や施策方針について検討していく。
	8. みどりの課題（例）として分野別の課題とあるが、長期計画にける政策分野を指しているという認識でよいか。	現時点では、長期計画の政策分野別に整理しているが、あくまでたたき台であり、今後の改定委員会の中で検討していく。
	9. 計画を「みんなで作る」ためには、改定委員会などの機会に来ていただく工夫や、区民サポーター会議と連携していくことで、知ってもらう工夫ができるとよい。	今回の改定委員会については、会議資料や議事概要を HP に公表する予定であり、どのように計画改定を進めていくか伝えていきたいと考えている。
	10. 改定計画には、施策の進捗状況や目標達成状況等の点検・検証を行うことを明確に位置付け、計画の進捗管理を行っていくことが重要である。	参考資料において、目標達成状況については整理している。
	11. 現行の「緑と自然の基本計画」に書かれていることが、実際にどこまでできているのか、なぜできなかったかなどフィードバックの資料があるとよい。	施策の進捗については、改定計画において、どのような指標を設定し管理していくか、今後アイデアをいただきながら検討する。
	12. 生物多様性やコミュニティづくりの状況、協働の取組みの状況なども何らかの指標で評価できるとよい。	

テーマ	主なご意見	対応
みどりに関する区民アンケート	13. インターネットなど郵送以外でのアンケート調査の実施はないのか。紙に加えて、インターネットによるアンケートを加えれば、より多くのご意見をいただけるのではないか。	<p>今回は、郵送以外の方法は難しいが、今後は時流の流れに合った手法が行えるように検討していく。</p> <p>回答してもらえない区民がいることも考慮した上で、統計的な分析にたえられる回答数を確保することを目標に、配布数を設定している。</p> <p>アンケート調査は統計的に傾向を把握することを目的としており、対象に偏りがあることは好ましくないことから、ヒアリング等を通して、ご意見をいただく。</p>
	14. 多くの人の声を聞くためには、インターネットなども活用することが効果的である。	
	15. 数年のスマートフォンの普及率や、若い世代からの意見を吸い上げることを考えると、今回は難しくても、次回には行えるようにシステムを準備していくことは必要かと思う。	
	16. PTA 等の子供がいる世代は、みどりに対して関心が高いと思うので、アンケートを行えば高い回答率になるかと思う。	